

## ポスト沖縄振興開発計画 上原副知事との勉強会

平成22年7月30日(金)

沖縄県は、本土復帰以降、30年にわたる沖縄振興開発計画が行なわれ更に、自立型経済に向けての沖縄振興計画が10年間にわたって展開され平成二十三年度に完了することになった。

この間の振興計画は、本土との社会資本整備の格差をなくし、沖縄県が自立していくための大きなステップとなった。

しかし、観光産業の伸びや情報通信産業の集積など成果は上がっているものの若年者を中心とした雇用情勢は、依然として厳しく又、米軍基地や離島の振興等多くの課題を抱え、本県を取り巻く環境は、厳しい状況にある。

そのような課題をふまえて、「沖縄21世紀ビジョン」が策定され、ビジョンで示す沖縄のあるべき姿を実現していくために沖縄振興の新たな枠組みや沖縄振興の計画策定のあり方を総合的に検討していくことが必要になる。



上原副知事の説明を受け勉強会

## 21世紀ビジョン勉強会

平成22年8月4日(水)

午前9時～11時

仲井眞県政のもとで、県民の意見を集約した「沖縄21世紀ビジョン」が策定された。このビジョンは、県民の参画のもと将来あるべき沖縄の姿を描き、その実現に向けた取り組みの方向性と、県民や行政の役割を明らかにする基本構想である。

①沖縄らしい自然と歴史、伝統文化を大切に  
する島 ②希望と活力にあふれる豊かな島等  
5つの将来像にまとめ20年後の沖縄の姿を具  
体的な施策の展開を通して実現を目指すもの  
である。

鉄軌道の導入による新たな公共交通システ  
ム導入によって新たな発展の基盤づくりや科  
学技術大学院大学による新たな企業群の集積  
等、新たな展開が期待できるビジョンとなっ  
ている。

今後は、このビジョンを推進していくために  
国の法律整備や国の支援体制をどのように構  
築していくか、このことが大きな課題となる。



沖縄県の新たな展望について議論